**（業務方法書　様式第１１号）**

**記載例**

　年　月　日

青森県農業再生協議会長　雪田徹　殿

所在地　**青森市長島１－１－１**

取組実施者名　**青い森肥料販売株式会社**

代表者氏名　**青森　太郎**

令和**５**年度肥料価格高騰対策事業取組実施状況報告書

肥料価格高騰対策事業実施要領（令和３年12月20日付け３農産第2156号農林水産省農産局長通知）第13の２の規定に基づき、別添のとおり報告する。

（添付資料）

・参考様式第１３－２号

・参考様式第１４号

・その他青森県農業再生協議会長が必要と認める書類

**令和４年度のみ申請：令和４年度**

**令和５年度のみ申請：令和５年度**

**両方申請：標題を「令和４年度及び令和５年度」として、一括して実施状況報告書を作成しても可**

肥料価格高騰対策事業取組実施状況報告書

第１　取組実施者名

|  |
| --- |
| **青い森肥料販売株式会社****参加農業者名簿（参考様式第１３－２）****の取組面積の合計と一致** |

第２　事業の取組概要

|  |  |
| --- | --- |
| 参加農業者数（件） | 取組面積（ha） |
| 　**６件** | 　**１００ｈａ** |

　第３　取組実績

**参加農業者から提出される科学肥料低減実施報告書（参考様式第１４号）や聞き取り等を行い、どのような取組を行ったか、その結果どの程度化学肥料の使用量が減ったか等について記載してください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 　取組メニュー | 取組の実績 |
| ア　土壌診断による施肥設計 | **土壌診断を実施し、施肥設計の見直しを行った結果、化学肥料の使用量が５％～１０％減少した。** |
| イ　生育診断による施肥設計 |  |
| ウ　地域の低投入型の施肥設計の導入 |  |
| エ　堆肥の利用 | **水稲を作付けしたほ場において基肥の一部を化学肥料から堆肥に転換し、転換したほ場では化学肥料の使用量が１０％～２０％減少した。****従来から堆肥を利用していた農業者では、堆肥の利用面積が計１５ha拡大した。** |
| オ　汚泥肥料の利用（下水汚泥等） |  |
| カ　食品残渣など国内資源の利用（エとオ以外） |  |
| キ　有機質肥料（指定混合肥料等を含む。）の利用 |  |
| ク　緑肥作物の利用 |  |
| ケ　肥料施用量の少ない品種の利用 |  |
| コ　低成分肥料（単肥配合を含む。）の利用 |  |
| サ　可変施肥機の利用（ドローンの活用等を含む。） | **可変施肥機の導入により、ほ場ごとに化学肥料の使用量が５％～１５％減少した。** |
| シ　局所施肥（側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等）の利用 |  |
| ス　育苗箱（ポット苗）施肥の利用 |  |
| セ　化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し（ア～スに係るものを除く。） |  |
| ソ　地域特認技術の利用（　　　　　　　　　　　　　　　） |  |

（注）参加農業者が、実施期間を通じてどのような取組を行ったか、また、その結果として、取組前と比べてどの程度の化学肥料の低減が図られたかを、使用記録等を参照し、できる限り定量的に記入してください。

第４　化学肥料の使用量の低減に向けて継続的に取り組むための取組計画

|  |
| --- |
| **化学肥料の使用量を低減したうえで収量が維持できるよう、堆肥の施用を継続して土作りを行う。****また、定期的な土壌診断による施肥設計の見直しと、可変施肥機の導入、利用拡大を図る。** |